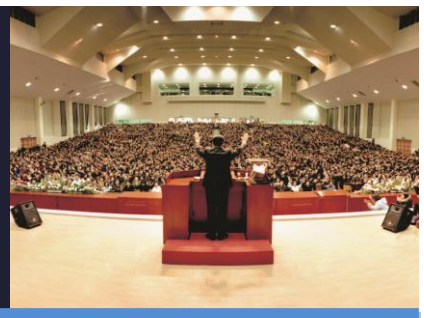
第 2017-47 号

恵みと真理のニュース



2017 年 11 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。「年を重ねることに喜びはない」と／言う年齢にならないうちに。アーメン

私は幼いときから教会には通っても聖書を習って説教を聞くのは興味がなかったです。聖書に出る神様の行いと奇跡とイエス様に関する話は信じられませんでした。イエス様を信じると話はしながら神様の天地創造ではなくて学校で教える進化論を信じました。そうして、中高等部で進級して初めて参加した修練会をきっかけにして神様の臨在と奇跡を体験し、創造主で救い主である神様を信じるようになりました。修練会の全てのプログラムが私のため神様が準備してくださり、働く順序で感じられるほど恵みを受けました。初めての私の心を尽くして神様に祈りをしました。教会学校でギターを習って下手な実力ですが私の手で神様に賛美を捧げるのが言葉で表現できないほど大きく喜びを感じました。その当時私の家庭の事情があまりよくなかったし、肯定的な考えをしなくて希望を持つようとしてもやさしくなかったです。しかし、修練会に帰って来てから変わりました。金銭的な問題と家庭の不和、将来に対する恐れによって暗かった私の心が明るくなり希望が出来ました。神様は私の心を強くし大胆にするようにしてくださいました。

そのような私の信仰生活に危機が来ました。高校3年生になって進学のため受験を準備しながら熱心に勉強はしましたが、なかなか成績が上がらなくて落胆をして、礼拝と奉仕することに熱心が冷めました。祈りながらもたまには神様の愛を繰り返して疑いました。結局受験に自分が願っていた期待と結果を得なくて入りたかった大学に入ることが出来ませんでした。すると、恨みと不平しました。どんな状況でも相変わらず主だけを信じ主だけを望むほど私の信仰は深くなかったです。

大学で教育訓練を受けて 将校に任官されることが出来る学軍団に関心があったら望んでいた大学がなかったですが、学軍団が設置された大学に入りました。自分の行動に責任を尽くす成人になったのと家をはなれている大学に行って生活をしなければならないのが恐ろしかったです。しかし、心配したのと違って大学生活はそんなに大変ではなかったです。学科が自分の適性に合って同期達もほとんどが良い友達でした。私の道を開いてくださる神様に感謝します。

神様、私は今も父なる神様に立つと足りなくて恥ずかしい子供です。神様に感謝する心が長くならなくてすぐ驕慢になりました。初めて味わう大学文化に落ちてしまい主日に教会に来ない日が増えて世の人々と違いがなかったです。私が考えてもクリスチャンだと言う前には誰も私を見て神様を信じると思わないほどの生活をしました。そうしながら、学軍団の試験が来ました。以前のようだったら神様の助けを求めながら"私の願いの通りにならなくてもこの道がではなくて、ほかの道で導いてくださるとしても神様の御旨と摂理を信じ感謝して従います。" と祈ったはずです。どころが、希望だった学軍団の先発試験を控えても私は神様の助けと導きを求めなかったです。 当時、体力試験まで合格をして最終の３次合格者発表が出る前１学期が終わって家に帰って来ました。家に帰って来て私の人生を振り替えてみると、私の心と体の全てが世に向かっていました。教会に行って礼拝を捧げるのが煩わしく思って、教会学校で補助教師として楽しく奉仕したことが負担になり煩わしく思いました。そんな、私を聖霊様が強い右の手で掴んで導いてくださって礼拝に参席するようになりました。礼拝を捧げながら自分が今まで求める姿がとても危ない状態であって御言葉と聖霊の働きで悟るようになりました。

私は中高等部の修練会で神様の恵みと愛を感じたその時のように、私に話してくださる神様の声を聴き信仰と愛と熱情を回復を願いながら切に祈り課題を持って青年修練会に参加しました。説教を聞く時すべての区節、単語が私の心に入りました。神様が私を叱って罰を与えるより暖かく抱いてくださいました。手をつないでくださり、私の祈りを答えてくださいました。私に話してくださるのをお辞めませんでした。

修練会で青年達と多くの話を分かち合いました。自分の信仰生活について主がくださった御言葉について、そして今まで各自が経験した神様の恵みを話しながら恵みを共に分かち合いました。

初めはそのように始まった対話ではなかったですが、互いに証を話す時間になりました。神様を賛美し証をする時間が恵みで心がいっぱいになり感動で幸せでした。世の中では何よりもけして得られない感動と幸せを感じました。神様に他の青年たちを通して私に教訓と励ましてくださいました。

修練会が終わった後、以前になかった熱情が生まれました。イエス様が信じない人々にだいする憐れむ心が出来て、彼らに福音を伝える使命が心に満たされたのです。以前は難しく思って考えた伝道がとても楽しい事になりました。伝道を私の人生に与えた一番の大きい使命であることを悟って続いて周りの近くの人々に福音を伝えました。世の人々と違いがなかった生活を終えって、言葉と行動と一つ一つがさすが神様に栄光を捧げるの何か先に考えるようになりました。

ある日、大学の同期から連絡が来て会ったら自分の未来のことにだいする不安を話しながら人生の理由と意味を知りたがっていました。その友達にイエス様を伝えて教会に通うように勧めました。私はその時を忘れません。その友達が迷いもなくすぐ"わかった。そうする。）とすぐ答えました。天下より尊い魂を生きる聖なることに私を使わしてくださる神様に感謝しました。私はもっと自信と胆力を得てイエス様を信じ仕えるこの理由で世から受ける不利益や迫害を恐れませんでした。

学校生活をしながら神様がくださる勇気と知恵で信仰生活を妨げる周りの誘惑を退けました。そんな私を見て誰もののしったりいじめられることはなかったです。神様がもっと人々から愛を受けるようにして下さり、学軍団の先発試験に最終合格するようにしてくださいました。合格証を見て心の中にはこれから神様がどんな目標と使命を下るとしてもどのように成し遂げられるか期待と希望でいっぱいになりました。そして、これからの神様の恵みの中で学業と共に将校になるため最後の教育を受けています。神様は私に聖書の御言葉は一転一画も変わらなく今日も生きておられる神様の御言葉であることを悟らせてくださいました。傲慢にならなくて真実に神様を信じ御言葉に従順しながら生活をする時、私たちの考えと期待よりもっと良い道で導いてくださる神様であること知るようにしてくださいました。善のなり慈しみ深い神様の性品を知るようにしてくださいました。神様の恵みと愛に感謝捧げます。

会党長のヤイロのもうすでに死んだ娘を再び生き返ってくださる時にヤイロに（ " 恐れることはない。ただ信じなさい。）とおっしゃったイエス様が私の主であり救い主です。したがって、この世で生きる間これからどんな試練と苦難が来るかわからないですが相変わらず主を信じ愛して委ねながら生きる時主がいつも守ってくださって勝利してくださるのを確信します。"（ わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。）という信仰で主が任せてくださるすべてのことに最善を尽くします。ハレルヤ！

［信仰コラム］ 心配を治める秘訣

" 神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。" （ペテロの第一の手紙5:7）

人の心には金属を使われなくする錆のように悪い影響を及ぼすことがあります。それを些細に扱って油断すると直すことができない災いをもたらします。 ' 心配 ' を治める秘訣について調べてみましょう。

まず、神様の思い通りにする心配とこの世の心配について調べてみます。 " 神のみこころに添うた悲しみは、悔いのない救を得させる悔改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。 " としました。神様の思い通りにする心配は魂に属した神霊な心配です。敬虔で正しい信仰を堅持するための心配、教会のためにする心配、まだ信仰に固く立たなくて信仰の道で離脱したり試みに陥る信者によって心配して心を焦がすこと、滅びの道に行く人を救いの道に導くための心配は全て神様の思い通りにする心配です。このような心配には主が共におられ、それによって得る賞と光栄と喜びが従います。自分と教会そして、他の人の魂に有益になる結果をもたらします。

この世の心配は肉親に属した心配で私達の生活に害になって悪い影響を及ぼします。知性と感情と意志を分裂させる作用をして事態を正しく把握できないようにしておろおろさせ、意欲と勇気を喪失させます。人の心霊と肉体を傷付け、病むようにする破壊的な威力を表します。その心に心配が満ちている人の生活は無気力であります。心配は高貴な人生を無味乾燥にして年月を空しく送らせます。

次は、心配を治める方法について調べてみましょう。

この世の全ての思想と哲学と宗教は生活の心配と煩悩を克服して脱ぐことで平安を求めようとする人間努力の産物であります。しかし、このような努力は心配に対する解決策になりません。ある人々は心理的な安定と快感を得るために麻薬類に頼ろうとします。また、ある人々は心配をお酒として克服しようとします。アスピリンや睡眠剤に頼って解決しようとする人々もいます。大体に人々が心配に対処する方法は何の有益も効果もなかったり暫定的な方便にはなるが結局は状態をより悪化させます。

聖書には心配を治める効果的な方法が記録されています。第一、魂が恵まなければなりません。自分の魂の行き先を知らない人は自分が意識しないとしてもその魂に心配が潜在しています。自分の魂が肉親を離れると天国に入るということを知るようになった人は大きい心配が解決されたのです。

第二、私達が行うことが神様の思いに合うべきです。一介の農夫に過ぎなかったギデオンは神様の思いをはっきり確認した後、心配を捨てて獅子のように大胆に任務を遂行してミデアンと東方遊牧の民の侵略者からイスラエルを救いました。神様の思いを分かるためにお祈りして聖書を考えながら説教を注意深く聞き、環境を調べてください。そうして神様の思いを知り、その思いに従って行うようになったら心配を捨ててギデオンのように大胆に行ってください。

第三、神様に求めてください。 " 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト. イエスにあって守るであろう。 " としました。

第四、心配を神様に任せてください。 " 神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。 " としました。

第五、神様の助けに対する約束の御言葉を常に心に置いてください。 " まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。 " 、 " すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。 " 、 " 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。 " としました。

私達がイエスキリストを信じると救ってくださり神様の子にさせて、聖霊として來られ私達を導かれ手伝ってくださり、慰めてくださいます。将来、父なる神様の家で永遠な安息を得るようにしてくださいます。このような神様が " あなたがたは、心を騒がせないがよい " " 自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。 " と言われました。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム ‘緑の牧場、清い川’ 本の語り中」

私と私の家とは共に主に仕えます

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人の一生に最も重要で優先されることがあります。それは神に仕えることです。聖書には、神を恐れるという言葉がたくさんあります。神を恐れることは、敬うで礼拝することです。信頼して従うで愛することです。聖書には、神を敬うと言うと仕えという言葉が同格に使用されています。今日の本文に記録されるのを**「それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え、あなたがたの先祖が、川の向こう、およびエジプトで仕えた他の神々を除き去って、主に仕えなさい。」（ ヨシュア記，24:14）と**しました。今日は神に仕えることに関して、人々を分類してみましょう。

第一は、神に仕えしようとする心がない部類の人がいます。

これらの神の存在を認めていません。伝道の書 3 章 11 節に記録されることを**「 神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終りまで見きわめることはできない」**としました。神はすべての人に永遠の死後の世界や、永遠の神の存在に対する意識を与えている。したがって、無神論者とは、事実上、故意に神の存在を否定する者です。無神論者が持っている問題は、神を意識している認識能力におらず、神の存在を故意に否定してしまうの意志があります。
共産主義が理論的には平等にすべてがうまく生きる社会を作るだろうが、実際には、少数の権力者たちが栄華を享受するため詐欺、人権蹂躙、殺人、独裁に人々を奴隷化するという事実が歴史を通して証明された。共産主義の体制で人をだまして無慈悲に支配する自分の良心に起こる呵責を億押すので、共産主義は無神論に基づいて置かないことはありません。共産主義体制では、宗教の自由を許さないか、または抑圧する理由がここにあります。無神論者は、意図的に目を閉じて、太陽はないと主張する人と相違ありません。

第二は、神の正しい知識を持たない部類の人がいます。

世の中には数多くの宗教があります。ところが、神は誰かが知らないので、神を無駄に仕える人々がたくさんあります。 ローマ人への手紙 1 章 23 節に記録されることを**「不朽の神の栄光を変えて、朽ちる人間や鳥や獣や這うものの像に似せたのである。」でした。そして 25 節には「 彼らは神の真理を変えて虚偽とし、創造者の代りに被造物を拝み、これに仕えたのである。創造者こそ永遠にほむべきものである、アァメン。」**しました。このような人々についての旧約聖書イザヤ書 44 章には、次のように記録されています。

偶像崇拝者たちは同じ木を持って偶像を作り、その前に福をもらうの用途に使用する一方、体を温めて、食べ物を作って食べるための燃料としても使用します。宗教の種類は違っても、その崇拝の方法や対象は大同小異です。偶像を作って仕えることを排撃する宗教が何が無駄な神に仕えるのは同じです。偶像崇拝者たちの問題は、彼らが神の言葉を聞いていない、または聞くことを拒否することができます。

第三は、神の言葉が記録された聖書を持ったにもかかわらず、自意で解釈して、神にたいして歪曲された知識を持つ部類の人がいます。

イエスはユダヤ人が、聖書を歪曲されるように解釈して信じることをただしに出し責め教えましたがかたくな心が鈍くなった彼らはかえってイエスを排斥しました。イエスの公的活動を開始した時でした。イエスの故郷であるナザレを訪問して、安息日に会堂へ入りました。会堂管理者が預言者イザヤの書が書かれた巻物の聖書をイエスに与えました。
イエスはイザヤ書に記録された言葉を読んでいました**「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、主のめぐみの年を告げ知らせるのである」（ルカによる福音書，4：18,19）**
イエスは、聞く人に向かって「この聖書の言葉が今日のあなたがたに行われた。」と言われた後、いろいろ言われました。 会堂に集まった人々が恵みの言葉に感心し、「カペナウムで行ったことをあなたの家ここでも行いなさい」としました。
イエスは言われた**「エリヤの時代に、三年六か月にわたって天が閉じ、イスラエル全土に大ききんがあった際、そこには多くのやもめがいたのに、エリヤはそのうちのだれにもつかわされないで、ただシドンのサレプタにいるひとりのやもめにだけつかわされた。また預言者エリシャの時代に、イスラエルには多くのらい病人がいたのに、そのうちのひとりもきよめられないで、ただシリヤのナアマンだけがきよめられた」（ ルカによる福音書，4：25～27）**しました。
この言葉を聞いたユダヤ人の両方の怒りに満ちている。彼らはイエスを町の外の山の断崖まで引っ張って行ってスライドさせて落とそうとしました。イエスは彼らの中から過ぎ去っていました。今日もナザレ人のように、イエスを誤解する人がたくさんいます。彼らは聖書を自分の思いどおりに解釈するため、神に対して歪曲された知識を持っています。疑似非の異端も、そのような部類に属します。

第四は、神のなさる不思議で驚くべきことを目撃し感服して、神の力を証言しながらも、まだ偶像に仕える部類の人がいます。

バビロンを征服したコレスがダリオにバビロン地域を治めよう委託しました。ダリオ王は、ユダヤ人、ダニエルを首相の一つとして立てさらにダニエルの地位を首相の上に置こうとしました。すると、他の総理と君たちがダニエルを嫉みました。
彼らは、ダニエルを苦境に陥れるために王にさらに提案をしました。誰もが三十日以内に、王のほか、他の神や人に求めている者は、獅子の穴に投げるようにすることでした。
王が調書にスタンプを押して禁しました。しかし、ダニエルは、以前のように、一日に三回祈りました。悪の群れがダリヨス王にダニエルを告発しました。やっとダリオ王は臣下の下心を知るたが、時すでに遅かった。ダリヨス王はダニエルを獅子の穴に投げ入れた後、宮に戻って飲食を全廃して夜更け目で夜を提起した。
翌日、日が明るくなってすぐ王は獅子の洞穴に行ってダニエルを呼んでみました。その洞穴の中でダニエルが叫びのを「私の神が、その天使を送って、獅子の口を防ぎられたので、獅子が私を傷つけないでした。」王はすぐに、ダニエルを獅子の洞穴であげるました。そしてダリオ王がすべての民に布告を発表しました。**「 そこでダリヨス王は全世界に住む諸民、諸族、諸国語の者に詔を書きおくって言った、「どうか、あなたがたに平安が増すように。わたしは命令を出す。わが国のすべての州の人は、皆ダニエルの神を、おののき恐れなければならない。彼は生ける神であって、とこしえに変ることなく、その国は滅びず、その主権は終りまで続く。彼は救を施し、助けをなし、天においても、地においても、しるしと奇跡とをおこない、ダニエルを救って、ししの力をのがれさせたかたである」（ ダニエル書，6 ：25～27）。**ところが、奇しくもダリヨス王はまだ偶像に仕えました。
世の中には、神のなさることを見て聞いて体験して、神様がおられることを知りながらも、仕えない部類の人がいます。

第五は、神を知っている一生の間変わらず仕える部類の人がいます。

イスラエルの民の指導者ヨシュアが年齢多く年老いてこの世を去る時が近いのを感じ民の指導層を集めて別れの説教をしました。遺言的な別れの説教を行ったヨシュアは、今　彼の最後の気力と最後までの残り時間を尽くしてきたイスラエルとその指導者に、神への信仰を高めようと努力しました。そしてヨシュアは自分の意志的決断を明確に表現しました。 「わたしとわたしの家は主に仕え」民が答えを「私たちも主に仕えるのです。」と答えたら、ヨシュアは彼らにこう言いました。 「もしあなたがたが、主を捨てて異邦の神々を仕える、あなたがたに祝福を下さ後も振り返って、あなたに災いを下すにくくがたを滅ぼすだろう。 ″
すると民は言った、「私たちが　主よ　われらの神に仕え、神に従いします。」と言いました。ヨシュアは民のために契約を結び、このすべての言葉を律法の書に記録しました。そして、大きな石を取って、主の聖所のそばにあるクヌギの下に立てました。神を仕える固い決意と覚悟が必要です。なぜなら、サタンが患難、迫害、誘惑とあらゆる言葉で、私たちの信仰を粉々うとして落ちるからです。

皆さんはヨシュアのような心情を持って言いなさい。私は神の栄光と威厳の神聖な恐れを持って、神を仕えました。私は敬う心で礼拝し仕えました。私は信頼と従順に仕えました。私は真実と愛で仕えました。私はイエス・キリストの神のみ仕えます。 皆さんは神に仕える喜びと幸せを日増しに深く知ることを願っております。